

『(公財)中島記念国際交流財団助成』  
(独)日本学生支援機構留学生地域交流事業

## 国際理解教育講師等派遣事業

# ワールドキャラバン

令和4年度報告



### 主催：茨城県国際理解教育推進協議会

- ▶ 茨城県教育庁学校教育部義務教育課
- ▶ 茨城県教育庁学校教育部高校教育課
- ▶ 茨城県教育庁学校教育部特別支援教育課
- ▶ 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課
- ▶ 茨城県営業戦略部国際渉外チーム
- ▶ 独立行政法人国際協力機構筑波センター
- ▶ 茨城地域留学生交流推進協議会
- ▶ 公益財団法人茨城県国際交流協会





# ワールドキャラバンとは

県内の学校や、生涯学習関係機関、並びに国際交流団体等が国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、外国人等講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣する制度です。参加者に、外国人と直接対話する機会や、開発教育のワークショップ等を体験する機会を提供することによって、国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。

## 小学校事例

### 下妻市立大宝小学校

学校長：長瀬 裕二  
実施日時：令和4年9月28日(水) 10:25~12:00  
実施場所：教室  
対象：5年生48名  
コーディネーター：川又 喜代美さん  
講師：全 家存さん/中国/留学生親善大使  
ザケア スルタナさん/バングラデシュ/各国事情紹介講師

#### 【活動内容】

- ▶ あいさつ、自己紹介、国の文化や学校生活の紹介、外国語での自己紹介
- ▶ 中国の踊りの紹介と体験(中国)
- ▶ 民族衣装の紹介・体験、香辛料・食べ物の見本(バングラデシュ)

### つくば市立沼崎小学校

学校長：江尻 佳之  
実施日時：令和4年11月18日(金) 8:35~10:10  
実施場所：教室  
対象：6年生83名  
講師：坂本 幸子さん/日本/ファシリテーター

#### 【活動内容】

- ▶ 世界の国々の生活の違いや、開発途上国と先進国の関係などについて児童に考えさせるワークショップ型国際理解講座
- ▶ 写真教材「地球の食卓」を活用したグループワーク

#### 児童の感想

- ▶ 中国語でのはじめましてや、どういたしましての言い方が分かりました。大人になったら中国に行ってみたいと思います。
- ▶ 実際にバングラデシュのお金を見て、日本は裏表の模様が様々なのに、バングラデシュは片面全て模様が同じことが心に残りました。もし実際にバングラデシュにいけたら、まだまだたくさんある日本との違いを発見し、観光したいと思います。



#### 先生の感想

- ▶ 今回、初めてワールドキャラバンを体験させていただき、児童の深い学びにつながったと感じました。総合的な学習の時間では、それぞれの国の文化や生活の様子についてインターネットを使って調べましたが、実際に出身の講師の先生のお話を聞くことで、児童は瞳を輝かせ、身を乗り出して話を聞いていました。児童の生きた学びにつながったと思います。私自身大変勉強になりました。本当にありがとうございました。
- ▶ 児童たちはインターネットの中でしか伝統衣装などを見たことがないので、今回実際に体験させていただいて、触れたことのない文化に触れることができたと思います。中国とバングラデシュの文化を学び、児童たちの中のイメージが大きく変わったと感じました。言語の発音や民族衣装の試着など、児童たちが興味を持てるような活動を考えていただき、ありがとうございました。児童たちにとってとても良い体験になったと思います。



#### 児童の感想

- ▶ 国によって食べるものも量もちがいます。世界には満足に食べられない人もいますが、日本はものに恵まれた国であることが分かりました。今までの食事で、環境について考えたことはあったでしょうか。これからは、自分が毎日食べる食事について考えていきたいです。
- ▶ 食料が多だけでは「幸せ」とは言えないことを学びました。初めは1週間で食べる物の量が多ければ多いほど幸せなのかと思っていたので、1週間分の食べ物の量が少ない写真は幸せではないとはふいていました。なので一番幸せの国と言われていた写真を先生が見せたとき、とても驚きました。写真にはたくさんの方が写っていたのに、食料が人数にしては少ないからです。あらためて「幸せとはなんだろう」と疑問に思いました。



#### 先生の感想

- ▶ 小学生が対象ということで、45分間という短い時間の中でもファシリテーターの先生が適切な時間配分で活動を設定してくださり、児童は集中して活動に参加することができました。写真を見てグループで相談し、3枚の写真を順位づけする活動では、「幸せとは何か」という難しそうなテーマでしたが、児童は家族の写真の表情を見たり食べ物の量や種類などから判断したりして、いろいろと考えることができていて、活動を設定してよかったと感じました。グループ内では意見を言えなかったり、クラス全体では発表できなかったりした児童でも、授業後のふりかえりで、幸せについてや、食糧問題、ゴミ問題、また特に海洋ゴミの問題など、複数の視点で自分の考えをまとめており、児童の視野を広げることができたと思います。



## 茨城県立鹿島高等学校附属中学校

学校長：小沼 浩幸

実施日時：令和4年9月15日(木)13:30~16:00

実施場所：講義室

対象：3年生40名

コーディネーター：菊地 方美さん

講師：赤塚 ダヤナンダニさん/スリランカ/各国事情紹介講師  
 ファム ティ トゥイ ハーさん/ベトナム  
 セイフェン ジャワさん/フランス/県国際交流員(CIR)  
 ジョナス ウィスナーさん/アメリカ/県国際交流員(CIR)

### 【活動内容】

- ▶前半…4名の外国人の方から、それぞれの国や文化についてミニ講演会をしていただいた。写真や実物を提示していただき、大変イメージしやすかった。
- ▶後半…生徒40人が4グループに分かれて、10分ずつ質問やインタビューを行った。10分経ったら講師が移動し、別のグループの生徒と少人数でコミュニケーションを図った。

### 生徒の感想

- ▶自国のことについて私達に寄り添いながら教えてくださっていて、日本と他国の文化の違いなどについてよく理解することができました。その中に探究の資料になりそうなお話もあって、すごくてめになりました。
- ▶質問に対して真摯に答えてくれて、探究に活かせそうなことを聞くことができました。また、国紹介のときに日本との文化や教育の違いがわかって面白かったです。
- ▶フランス人のジャワさんに、授業のこと以外で話しかけました。本当は授業のこと以外で気になることがあるのと、単純に話してみたかったので、話してみると、とても楽しくて話しかけてよかったなあと思いました。
- ▶医療に関する質問をしたのですが、ネットや本などで調べただけではわからない、現地での考えがわかったので、探究を深めることができそうだと思います。



### 先生の感想

- ▶本校3学年では、総合的な学習の時間において国際探究学習を行っており、外国の文化や諸問題について探究していました。そのような中でJICA筑波様に相談したところ、本事業をご紹介いただくことができました。本校の所在地である鹿嶋市にはこのような事業を提供する機関はなかったので、大変助かりました。
- ▶今回、初めてワールドキャラバンを本校で実施することができ、大変貴重な機会となりました。本校付近には外国人の方と直接触れあう場所がなく、生徒達にとっても大きな学びとなりました。また機会がございましたら来年以降も実施させていただきたいです。



## 桜川市立岩瀬東中学校

学校長：小河原 泰彦

実施日時：令和4年10月28日(金)13:30~14:45

実施場所：体育館

対象：2年生75名

講師：倉本 衣織さん

(JICA海外協力隊経験者 モザンビーク派遣)

### 【活動内容】

- ▶モザンビークでの活動についてのご講演
- ▶動画を交えたスライドショー
- ▶クイズ形式のアクティビティ

### 生徒の感想

- ▶誕生会に来る人が、家族や親戚だけではなく、学校の友達たちや近所の人々などすごい人数になると聞いて驚きました。一年無事に生きるのは当たり前ではなく、とても大変なことだとわかりました。
- ▶大変な暮らしをしているのに、みんな笑顔で明るい様子ですすごいと思いました。
- ▶クイズで手をあげたり、たくさん質問できたりして楽しかったです。
- ▶自分も、人の役に立つことがしたいと思いました。
- ▶わたしも、夢を叶えるために頑張っていこうと思います。



### 先生の感想

- ▶前年度、活用させていただいたことで生徒に有意義な学びの機会を提供することができたので、今年度も申請させていただきました。生徒の様子を見ながら、即興的な内容も盛り込んでいただきました。生徒たちは最後まで楽しく学ぶことができていました。感想を記入する際に、モザンビークで使われているポルトガル語での表現に挑戦する生徒の姿も見られました。また、生徒の質問に一つ一つ丁寧に答えてくださったことで、より生徒たちの理解が深まった様子でした。現地での貴重な体験の中から、自分たちの感じている「当たり前」がとてもありがたいことだった、とご紹介いただく場面もあり、生徒たちが自分を見つめ直す良い機会にもなりました。
- ▶講師の倉本先生と事前に打ち合わせをすることができ、事前アンケートもご用意していただきました。アンケートの結果を基に、生徒達が聞きたい話を盛り込んだ内容にさせていただいたことで、生徒たちにとって貴重な学習になりました。全く知らなかったモザンビークという国を、講演の終わりには身近に感じることができました。働くことの意義を考えるだけでなく、広い視野を持ち、心豊かに生きることの大切さにも触れることのできた良い機会となりました。ありがとうございました。



## 茨城県立水戸桜ノ牧高等学校

学校長：益子 雄行

実施日時：令和4年6月21日(火) 14:00~15:40

実施場所：教室

対象：1年生321名

講師：すべて各国事情紹介講師

田中 アルバさん/ニカラグア

ピエルナツカ ヤマグチ イボナさん/ポーランド

パーコフィ エイクンスさん/ガーナ

トレフソン トッド アンドリューさん/アメリカ

トム ギブさん/イギリス

赤塚 ダヤナンダニさん/スリランカ

パク ソンミンさん/韓国

ジョン ヒギョンさん/韓国

### 【活動内容】

- ▶それぞれの国の地理、文化、食生活の紹介、民族衣装の紹介など

### 生徒の感想

- ▶自分の国をより知ってもらうために自然・文化・都市をわかりやすく教えていただき、素晴らしい方だと思った。プレゼンテーションをしてくれたことに感謝したい。
- ▶「ラテンアメリカ人は生きるために働く」「日本人は働くために生きる」という言葉が印象に残った。
- ▶その国のことを偏見で判断するのはよくないし、ほかの国の文化を正しく知る必要があると思った。
- ▶講師の方が日本に興味を持ち、熱心に日本語を学んだことを知り感激した。



### 先生の感想

- ▶生徒たちは、異文化理解だけでなく、言語学習についても前向きな気持ちになれたようです。教員からではなく、別の角度からお話をいただくことで、生徒も共感できる点が多かったように感じられます。次年度以降もこの行事が継続できればいいと感じました。



## 茨城県立古河第三高等学校

学校長：新井 智子

実施日時：令和4年11月28日(月) 14:45~15:40

実施場所：教室

対象：1年生213名

講師：鈴木 茂さん((公財)茨城国際親善厚生財団 統括局長)

アマディアル 亜来春さん

/アフガニスタン((公財)茨城国際親善厚生財団)

掛札 真俊さん(特非)日本・ Bangladesh文化交流会)

佐藤 宏幸さん

(JICA海外協力隊経験者 リベリア・ニジェール派遣)

紙井 香織さん(JICA海外協力隊経験者 スリランカ派遣)

岩崎 展孝さん(JICA海外協力隊経験者 ヨルダン派遣)

岡崎 有香さん

(JICA海外協力隊経験者 マダガスカル派遣、JICA職員)

### 【活動内容】

- ▶海外での国際協力経験や、参加動機についての講話
- ▶質疑応答
- ▶後日、各クラスでグループごとに講話内容をまとめ、発表及び共有を行った。

### 生徒の感想

- ▶国が違っても日本では当たり前のことでも全然当たり前ではなく、考えや価値観なども全然違うため難しいと思いました。今回の講話を通して改めて何でも体験してみるということはとても大切だなと思いました。だから私も今しか出来ないことは今のうちに挑戦し頑張りたいと思います。
- ▶国際協力を仕事にすることのやりがいや仕事にして得たものを詳しく知り、私も国際協力に興味を持つことが出来ました。先生がおっしゃっていた「何かを変えたいと思った時、1000回叩いて壊れる壁もある。私にとって1000回叩けるものは、努力を続けられるもの、情熱をもてるものなのかもしれない」という言葉がとても印象に残りました。私もいつか、努力を続けられ、情熱をもてるものを見つけたいと思います。



### 先生の感想

- ▶コロナ禍以後、海外スタディーツアーを実施できず、代替案を模索している中で本事業を知りました。教員では話してあげられないような体験談を聴けるチャンス頂き、ありがとうございます。国際協力に興味がありますという生徒は存在するものの、では国際協力とは具体的に何かと追及して聞いてみるとほとんどの生徒は答えられません。今回の講話をきっかけに、生徒の知っている世界が広がったと感じました。



## 茨城県立協和特別支援学校

学校長：塩畑 道代

実施日時：令和4年11月16日(水)10:00~12:00

実施場所：図書室

対象：中学部1年20名、3年18名

講師：コン ソフィーさん/イギリス/県国際交流員(CIR)  
 ジョナス ウィスナーさん/アメリカ/県国際交流員(CIR)

### 【活動内容】

- ▶ 自己紹介
- ▶ 写真(パワーポイント)を使っての、出身国の文化の紹介
- ▶ 遊びの紹介「Head, Shoulders, Knees And Toes」
- ▶ 生徒からの質問コーナー ▶ 記念撮影

### 生徒の感想

- ▶ 緊張したけど楽しかったです。
- ▶ 事前に英語での自己紹介の勉強をしていたが、できるか不安でした。でも、優しく見守ってくれたので、自己紹介をすることができて嬉しかったです。
- ▶ イギリスとアメリカの食べ物やスポーツ、文化など、いろいろなものが分かって勉強になりました。
- ▶ 外国の方に質問をしたり、趣味の話をしたりすることができて、楽しかったです。
- ▶ 「ヘッド、ショルダー」のゲームが楽しく、勉強になりました。



### 先生の感想

- ▶ コロナ禍であるため、ソーシャルディスタンスをとっての実施ではありましたが、外国の文化の紹介が分かりやすく、生徒からの質問等にも丁寧に答えていただいたので、有意義な交流ができました。
- ▶ 初めは生徒に緊張がみられましたが、講師の方々の穏やかな対応のおかげで、多くの生徒に笑顔がみられるとともに、高揚感も伝わってきて、外国の方々や文化への興味関心の高さが大いに感じられました。また、今後の授業にもつなげることができました。
- ▶ 日本語が上手で、ゆっくり、丁寧に説明していただいたので、聞きやすく、分かりやすかったです。
- ▶ パワーポイントの資料には、写真がたくさんあってよかったです。
- ▶ 生徒たちが興味をもっている話題を話してくださったので、生徒も意欲的に参加することができました。



## 桜川市国際交流協会

会長：大塚 秀喜

実施日時：令和4年11月12日(土)14:00~15:00

実施場所：真壁伝承館 1階会議室

対象：一般参加者34名

講師：バヤルバートル マルガドさん  
 /モンゴル/留学生親善大使

### 【活動内容】

- ▶ モンゴルの文化・挨拶紹介
- ▶ モンゴル民話「みなしごの白いラクダ」を、マルガドさんと桜川市の読み聞かせ団体で、モンゴル語と日本語で読み聞かせ
- ▶ 読み聞かせに合わせた馬頭琴の演奏

### 参加者の感想

- ▶ モンゴルの文化に触れることができ、とても勉強になりました。またこのような機会がありましたら参加したいと思いました。
- ▶ モンゴルが身近に感じられ良かったです。日本語とモンゴル語での絵本の読み聞かせ良かったです。
- ▶ モンゴルの生活様式等勉強になりました。他国との交流は少ないので、とても良い取り組みだと思います。
- ▶ 読み聞かせがとても良かった。演奏も魅力的でよかったです。マルガドさんへの質問がとても為になりました。貴重な体験ができて良かったです。
- ▶ モンゴルの読み聞かせを聞いて、国は違っても親子の愛は世界共通だと思いました。ラクダの子がお母さんに会えてよかったです。馬頭琴の音色も素晴らしかった。来てよかったです。感動しました。



### 担当者の感想

- ▶ 講師のマルガドさんは、モンゴルについて紹介される際に、それぞれの項目で日本と比較したり、私たちの生活になじみがある相撲や競馬などを織り交ぜて話してくださったり、とても分かりやすかったです。参加者からの質問にも丁寧に答えてくださり、理解を深めることができました。ゲルでの生活や教育、あまりイメージのなかったウランバートルの都会の様子など、私自身大変勉強になりました。また、普段聞きなじみのないモンゴル語を聞いたり、モンゴル民話ならではのラクダのお話を聞いたりして、異文化に触れることができました。このような機会は普段の生活ではなかなかないので、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。



# ワールドキャラバン 活用のバリエーション

ワールドキャラバンには、国際理解を深めるための色々な活用法があります。  
イベントや交流会等、目的に合わせた場面でご活用ください！

## 民族衣装試着体験



(茨城県立大子清流高等学校)

## 民族舞踊



(龍ヶ崎市立松葉小学校)

## 各国料理教室



(那珂市国際交流協会)

## オンラインでの実施



(守谷市立郷州小学校)

## 国際理解教育ワークショップ



(牛久市国際交流協会)

## JICA 海外協力隊体験談



(水戸英宏小学校)

## 留学生シンポジウム



(茨城県高等学校国際教育研究協議会)

## NGO 団体の支援活動紹介



(小美玉市立美野里中学校)

\* 活用例の詳細につきましては、裏表紙(3)ワールドキャラバン活用の例をご覧ください。

# 令和4年度ワールドキャラバン実施校・団体一覧表

No.	派遣先	開催日
1	水戸内原国際交流ふれあいの会(1/3)	令和4年 4月24日
2	牛久市国際交流協会(1/4)	令和4年 5月20日
3	つくばみらい市生涯学習課伊奈公民館(1/4)	令和4年 5月28日
4	牛久市国際交流協会(2/4)	令和4年 6月10日
5	一般財団法人つくば市国際交流協会	令和4年 6月18日
6	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	令和4年 6月21日
7	メサフレンドシップ(1/4)	令和4年 7月 5日
8	つくばみらい市生涯学習課伊奈公民館(2/4)	令和4年 7月23日
9	水戸市国際交流協会(1/2)	令和4年 7月24日
10	茨城県立日立第一高等学校	令和4年 8月 2日
11	牛久市国際交流協会(3/4)	令和4年 8月21日
12	茨城県立石岡特別支援学校	令和4年 9月 9日
13	水戸内原国際交流ふれあいの会(2/3)	令和4年 9月10日
14	霞ヶ浦高等学校	令和4年 9月14日
15	茨城県立鹿島高等学校附属中学校	令和4年 9月15日
16	茨城大学教育学部附属特別支援学校(高等部)	令和4年 9月15日
17	小美玉市立小川南小学校	令和4年 9月20日
18	下妻市立大宝小学校	令和4年 9月28日
19	那珂市国際交流協会(1/5)	令和4年10月15日
20	つくばみらい市生涯学習課伊奈公民館(3/4)	令和4年10月15日
21	大成女子高等学校	令和4年10月18日
22	北茨城市立関本小学校	令和4年10月18日
23	東洋大学附属牛久中学校	令和4年10月18日
24	那珂市国際交流協会(2/5)	令和4年10月18日
25	茨城県立伊奈特別支援学校	令和4年10月25日
26	つくば開成高等学校	令和4年10月26日
27	那珂市国際交流協会(3/5)	令和4年10月26日
28	茨城県立並木中等教育学校	令和4年10月28日
29	桜川市立岩瀬東中学校	令和4年10月28日
30	神栖市立息栖小学校	令和4年11月 4日
31	茨城県立古河中等教育学校	令和4年11月 8日
32	つくば国際大学高等学校	令和4年11月 8日
33	つくばみらい市生涯学習課伊奈公民館(4/4)	令和4年11月12日
34	桜川市国際交流協会	令和4年11月12日
35	茨城県立土浦第二高等学校	令和4年11月14日

No.	派遣先	開催日
36	茨城県立協和特別支援学校	令和4年11月16日
37	水戸英宏小学校(1/2)	令和4年11月17日
38	つくば市立沼崎小学校	令和4年11月18日
39	牛久市国際交流協会(4/4)	令和4年11月18日
40	古河市立釈迦小学校	令和4年11月18日
41	水戸内原国際交流ふれあいの会(3/3)	令和4年11月19日
42	水戸市国際交流協会(2/2)	令和4年11月19日
43	メサフレンドシップ(2/4)	令和4年11月22日
44	牛久市立おくの義務教育学校	令和4年11月24日
45	茨城大学教育学部附属特別支援学校(中等部)	令和4年11月24日
46	茨城県立古河第三高等学校	令和4年11月28日
47	茨城県立大子清流高等学校	令和4年11月29日
48	茨城県立美浦特別支援学校	令和4年12月 9日
49	東洋大学附属牛久高等学校	令和4年12月 9日
50	日立市立水木小学校	令和4年12月13日
51	日立市立坂本中学校	令和4年12月14日
52	茨城県立下妻特別支援学校	令和5年 1月12日
53	茨城県立友部東特別支援学校	令和5年 1月18日
54	一般財団法人つくば市国際交流協会	令和5年 1月21日
55	東海村日本語支援グループ	令和5年 1月28日
56	茨城県立図書館	令和5年 1月29日
57	那珂市国際交流協会(4/5)	令和5年 2月 2日
58	水戸英宏小学校(2/2)	令和5年 2月 2日
59	古河市立古河第六小学校	令和5年 2月 7日
60	江戸川学園取手小学校	令和5年 2月 7日
61	日立市立坂本小学校	令和5年 2月 9日
62	那珂市国際交流協会(5/5)	令和5年 2月11日
63	筑西市国際友好協会	令和5年 2月12日
64	メサフレンドシップ(3/4)	令和5年 2月14日
65	茨城県立茨城東高等学校	令和5年 2月15日
66	石岡市立杉並小学校	令和5年 2月16日
67	茨城県立土浦特別支援学校	令和5年 2月21日
68	愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	令和5年 2月21日
69	メサフレンドシップ(4/4)	令和5年 3月7日
70	茨城県立下妻第二高等学校	令和5年 3月16日

# 令和5年度ワールドキャラバン実施要領

詳細は公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページ <https://www.ia-ibaraki.or.jp/> をご覧ください。

## 1 派遣内容

(1)派遣先：茨城県内の小・中学校及び義務教育学校、高等学校(中等教育学校を含む)、特別支援学校、生涯学習関連団体

(2)派遣する人材

### A 外国人講師

- ①留学生((公財)茨城県国際交流協会が任命した茨城県留学生親善大使等、茨城県内の大学や高校に在学する留学生)
- ②在住外国人(県内に在住する外国人(各国事情紹介講師)や県の国際交流員(CIR)、外国語指導助手(ALT))

### B 日本人講師

- ①参加型学習を実施するファシリテーター(異文化理解、開発途上国への理解を深めるためのゲーム、ロールプレイなどを実施します)
- ②県内のNGO等国際交流協力活動実践者及び海外活動経験者
- ③JICA海外協力隊経験者等

### C コーディネーター(日本人)

企画内容について、派遣先の相談に応じ、講師との連絡・調整、当日の進行役をします。

(3)ワールドキャラバン活用の例

- ①総合的な学習の時間で、世界の遊びや民族衣装、舞踊など披露してもらう。(小・中学校及び義務教育学校)
- ②道徳や特別活動、社会科等の授業で、JICA海外協力隊経験者に海外での活動の様子等を紹介してもらう。(小・中学校及び義務教育学校)
- ③道徳の授業等で、留学生とともに昨今の社会問題について出身国の状況も踏まえながら話しあう。(高校)
- ④地理歴史・公民等の授業に外国人を講師として招き、出身国・地域の社会情勢や風土について紹介してもらい、理解促進の一助とする。(高校)
- ⑤世界の料理を紹介してもらい食文化の交流を図る。(生涯学習関連団体)
- ⑥県内のNGO等国際交流協力活動者を講師として招き、団体の活動内容に関する講演を行ってもらい、国際協力や国際理解・国際貢献の重要性を知る。(生涯学習関連団体)
- ⑦ファシリテーターの進行により、シミュレーションゲームやロールプレイ、ワークショップを体験する。

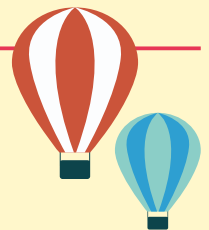
## 2 申し込み手続き

○派遣を希望する学校は、派遣申請書を募集期間内に協議会事務局まで提出してください。

**募集期間** 令和5年4月1日～令和5年6月30日

**事業実施期間** 令和5年9月1日～令和6年2月29日

(※学校・団体で費用負担可能な場合、この限りではありません。ご相談ください。)



## 国際理解教育教材「ワールドボックス」貸出しのご案内

県内の国際理解教育推進のための役立つ教材(各国の国旗、民族衣装、工芸品、図書等)を各学校や生涯学習センター、その他国際理解教育を実施する個人・団体に貸出します。

教材の紹介、貸出方法や申請書のダウンロードは、公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページをご覧ください。



お問い合わせ先

茨城県国際理解教育推進協議会事務局(公益財団法人茨城県国際交流協会内)

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2階

TEL: 029-241-1611 FAX: 029-241-7611 E-mail: iia@ia-ibaraki.or.jp

